

常設展

Japanisch

近代美術の名作

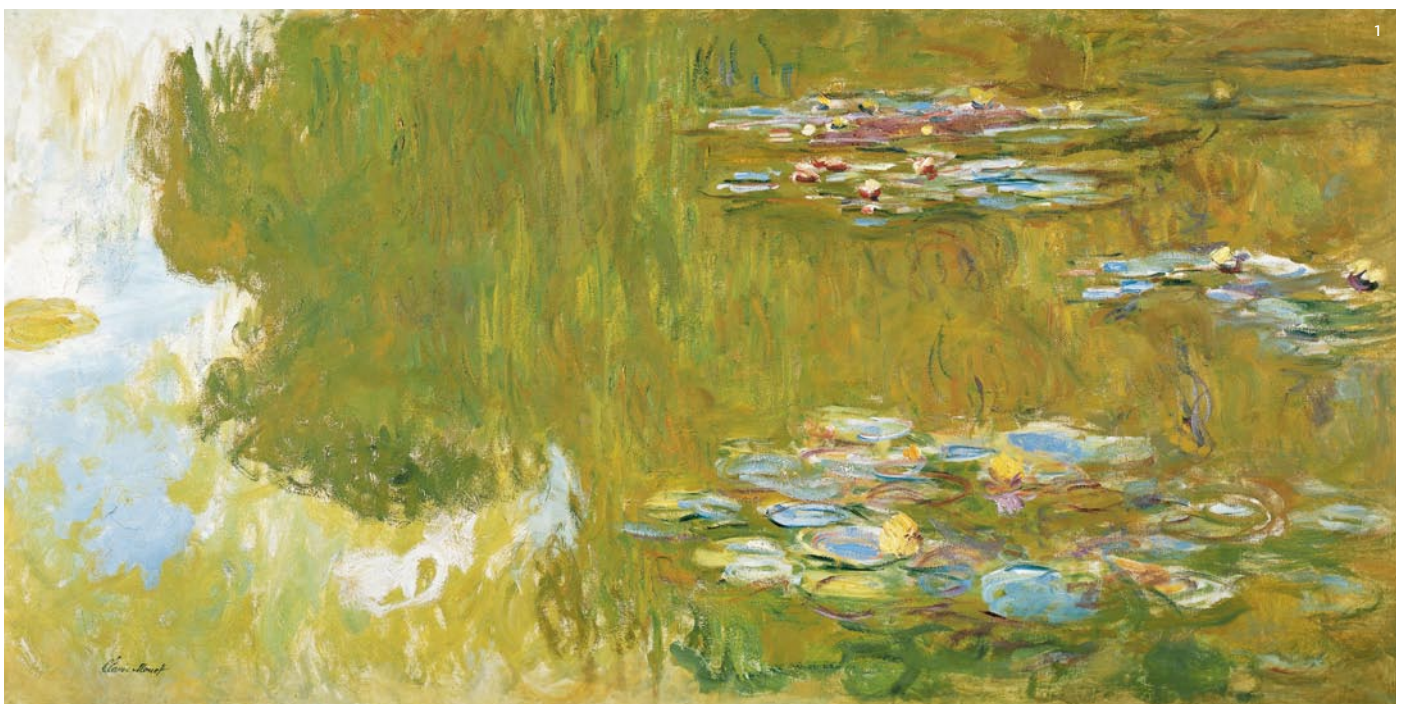


ALBERTINA
ウィーン - バトリナー・コレクション

常設展

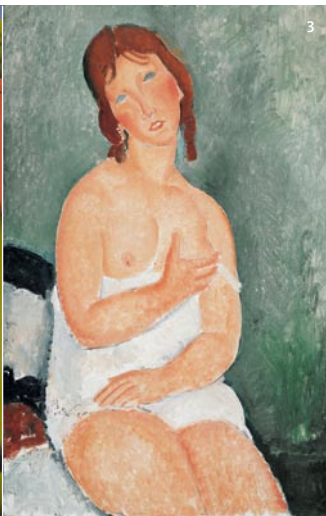
2007年秋以来、とりわけ大きなヨーロッパの私蔵コレクションとして知られるバトリナー夫妻コレクションが、アルベルティーナ美術館に加えられ、美術館とともに、ミュージアムの都としてのウィーンの価値がさらに高くなりました。このコレクションが加えられたおかげで、アルベルティーナ美術館は、これまで存在してきたギャップを多数の傑作によって埋めることができる、オーストリア唯一の国際的近代美術館となりました。ヘルベルト・バトリナーとリタ夫人はおよそ50年前に美術のコレクションを開始しました。アルベルト・ジャコメッティに加えて、フランスの印象派およびポスト印象派の絵画がこのコレクションの焦点となっています。しかし、バトリナー夫妻はパブロ・ピカソの作品のコレクション活動にも力を入れていました。今日、バトリナー・コレクションにはピカソの作品が40点以上もあり、10点の絵画、多くのデッサンに加えて、珍しい陶芸作品も含まれています。さらにバトリナー夫妻は20世紀後半の作品も入手し、現代芸術の呼び物的な作品を購入し続けたのでした。

バトリナー・コレクションが追加されたおかげで、アルベルティーナ美術館では、美術館ができて以来初めて、自らが所蔵するオブジェクトで常設展をおこなうことが可能になりました。この新しい常設展では、3000平方メートルの面積を持つフロアを会場として印象派から最近のものまでの280点の作品を展示し、130年の美術史の最も興奮させられるページを語ることとなります。モネ、ルノワール、セザンヌ、マティス、ミロ、ピカソ、クレー、カンディンスキー、シャガールなどの絵画作品を通して、フランスの印象派・ポスト印象派、フォーヴィスム、ドイツ表現派、ロシア・アヴァンギャルド一通り鑑賞することができます。ピカソの後期の絵画作品、ロスコ、ベーコンなどの芸術家も加えられ、展示は20世紀後半へと案内し、リヒター、バセリッツ、キーフナー、カツツで幕を閉じます。アーヌルフ・ライナー、マリア・ラスニック、フーベルト・シャイブルの作品は、新しい常設展でのオーストリアの現代芸術の存在を確認するものです。展示作品には、マティアス・フォルベルクとエヴァ夫人のフォルベルク夫妻コレクションおよびカール・ジェラッシュ・コレクションのパウル・クレーの注目作品も加えられます。アルベルティーナ美術館所蔵の幅広い現代芸術作品の展示活動は、この新しい常設展の設立によって完全なものとなります。



1 クロード・モネ、「睡蓮池」、1917-1919年頃、アルベルティーナ美術館ウィーン - バトリナー・コレクション

2 ケントン・ネルソン、「観景」、2007年、© Kenton Nelson* (写真) © Photo Studio Heinz Preute, Vaduz | 3 アメデオ・モディリアーニ、「シュミーズを着た若い女」、1918年*、(写真) © Photo Studio Heinz Preute, Vaduz | 4 アンリド・トカールズ＝ロートレック、「白い馬ガゼル」、1881年*、(写真) © Photo Studio Heinz Preute, Vaduz | 5 ロイド・リチャードソン・スタイン、「鏡の前のダラス・レモン」、1974年、© The Estate of Roy Lichtenstein / VBK, ウィーン, 2009* | 6 ペドロ・セカグ、「地中海の風景」、1952年、© Succession Picasso / VBK, ウィーン, 2009* | 7 マーク・ロスコ、「サフラン」、1957年、© 1998 Kate Rothko Prizel & Christopher Rothko / VBK, ウィーン, 2009* | 8 マルタン・ヤカール、「花の完での展覧」、1972年、© VBK, ウィーン, 2009* | 9 アレックス・スタック、「Trio #4」、2009年、© VBK, ウィーン, 2009*
 * アルベルティナ美術館、ウィーン - バリナー・コレクション



アルベルティーナ

Albertinaplatz 1

1010 Wien

電話: +43 (0)1 534 83-0

ファックス: +43 (0)1 534 83-199

Eメール: info@albertina.at

www.albertina.at

開館時間

毎日 10時から18時まで

水曜日 10時から 21時まで

ALBERTINA
ウィーン - バトリナー・コレクション